

I 飛島村の教育指針

～ ふるさとを基盤に、一人ひとりが輝くことのできる確かな教育 ～

本村は、第5次飛島村総合計画（令和5年3月策定）の将来像である「災害に強い・活気・魅力・人づくりの村 とびしま」の実現を図るために、ふるさと「飛島村」の宝である子どもたちを健やかに育み、住民一人ひとりが活躍できる機会を大切に「飛島村教育大綱」を基に教育施策を推進している。また、「村民憲章」を行動指針として、自分たちが住む村を大切に、住みやすい村となるよう共に考え、話し合い、実行していく人づくりが肝要であると考えます。

そこで、本村の教育指針を「ふるさとを基盤に、一人ひとりが輝くことのできる確かな教育」とし、将来の飛島村の担い手となる人づくりを進めていく。

飛島村民憲章（昭和58年3月制定）

村民憲章は、村民の皆さんが相互に信頼関係を培っていくための「共通の心構え、合言葉」です。

本村では、村民憲章を推進することによって、村民相互がかたく信頼関係で結ばれる村づくりを目指します。

- － 心とことばの通いあう、楽しい家庭をつくりましょう。
- － 祖先をしのび、感謝の気持ちで働きましょう。
- － 進んできまりを守り、明るい社会づくりに励みましょう。
- － ものを大切に、思いやりの心で毎日をすごしましょう。
- － 心身をきたえ、豊かで活気のある村をつくりましょう。

II 施策の基本方針

第5次飛島村総合計画及び、教育大綱(令和5年3月策定)に基づき、次の教育施策を推進する。

1 学校教育・青少年健全育成

県下で2校目に開校した義務教育学校である飛島学園では、地域の宝である子どもたちに、9年間を見通した教育活動と温かな教育支援体制を構築する。また、住民の誰もが等しく学ぶことのできる環境や活躍の機会を得ることのできる生涯学習・スポーツ分野の充実を推進する。

(1) 子どもへの食育の推進

減農薬野菜（特別栽培農産物）や無添加食材を用いた給食を実施し、給食の安全性を一層高める。また、地産地消の食材や地域住民の協力を得て、子どもたちが育てた野菜を給食に取り入れる等、食を通じて地域を理解することや、食文化の継承を図ること、自然の恵み、勤労の大切さを理解すること等により、食育の推進を図る。

(2) 未来を担う子どもたちの育成

グローバル化、多様化する国際社会でたくましく生き抜く力を養うため、情報通信技術（ICT）の活用や情報発信能力の形成、プログラミング的思考の育成、海外派遣や村の英語関連事業との連携を含む9年間を見通した英語のカリキュラムの作成、「飛島未来探

究科（通称：TOBI探）」を中心にしたPBL（課題解決型学習）の実践により、個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す。

（3）誰ひとり取り残さない教育環境

義務教育学校として、9年間を通して一人ひとりを全ての教職員で見守り育てる。「特別支援教育校内委員会」「校内教育支援委員会」「生徒指導委員会」を定期的に行き開催し、丁寧な情報共有・相談体制を構築する。また、登校に困難さを抱えている生徒には、教育支援教室「きらり」の活用を進めている。いじめについては、Q Uアンケートや生活アンケートを実施し、未然防止、早期発見、早期対応に努める。さらに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、就学支援コーディネーターを配置し、一人ひとりの健全育成のため、きめ細かな対応を図る。

（4）学校と家庭の連携が十分に取れる環境

保護者や地域に開かれた学校のための学園ホームページや各種便りの充実、一人一台タブレットの家庭での効果的な活用の促進により、学校と家庭が必要な情報を共有することで、教育活動を効果的に進める。また、家庭教育の推進を図るため、保護者と教員が子育てについてともに学ぶ機会の充実を図る。

（5）子どもがすこやかに育つ地域の形成

保護者や地域による登下校時の交通安全指導や見守りの継続、地域の行事への積極的な参加を進める。また、PTA活動や学校評議員の活用により、保護者や地域住民の意見を聞く機会を大切に、地域とともに子どもたちのすこやかな成長を育む。保護者への素早い情報伝達の手段として「絆ネット」を活用し、安全・安心な環境を整える。

（6）郷土に誇りを持つ人材の育成

地域や地元企業による学園事業への参画、子どもたちとの交流の促進を図り、郷土に誇りを持てるような教育を推進し、村の取り組みへ自発的に働きかけることのできる子どもたちを育てる。また、「飛島未来探究科」を通して、地域について知り、地域の未来を自分事として考える学びを積み上げることで、自らの言葉でお世話になった地域や地元企業の方等へ、郷土について発信できる子どもの育成に取り組む。

（7）家庭教育への支援が行き届く環境

家庭教育への支援を行き渡らせつつ、地域ぐるみとなって青少年を育み、健全な青少年が育つよう取り組む。具体的には、ボランティア団体の活動を支援したり、青少年の健全育成や非行問題に関する啓発活動を推進する。

2 生涯学習・スポーツ・文化

住民一人ひとりが、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯に渡り、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習ができ、その成果を適切に生かすことができるよう、住民一人ひとりの可能性とチャンスの最大化に向け、人生100年時代を見据えた生涯学習等の推進に取り組む。

（1）自身が求める活動機会の提供

住民の文化活動やスポーツ活動を支援しつつ、多様化する住民ニーズに応えた活動機会を提供し、住民それぞれが興味を持つ分野で学習等を進め、それぞれが活躍できるよう進める。

(2) 地域芸能の存続

住民相互のつながりが希薄化する中、郷土における共通の財産である伝統芸能を守り、大切にすることを醸成する。

(3) 歴史と文化の保護・管理・活用

文化財・郷土資料を適切に維持管理するとともに、飛島村の昔ながらの生活を伝承していくことで住民の郷土愛の醸成や歴史・文化に対する関心を高めていくよう取り組む。

3 多様な人材の活躍・育成

多様な人材が活躍できる環境づくりを進め、誰とでもコミュニケーションが取れ、国際社会に貢献できるグローバルな視点を持った人材の育成を推進する。

(1) 誰もが多文化共生を学ぶ機会がある

外国人の生活様式や考え方の理解を深めることを目的として、様々な国の文化に触れる講座等を開催し、日本人と外国人の垣根を越えた相互理解を目指す。

(2) グローバル化に対応できる人材の育成

学校教育で培った英語を生かせる場としての中学生の海外派遣や小中学生向けの英会話教室を継続して実施し、国際社会で活躍できるグローバルな視点を持った人材の育成を進める。

Ⅲ 教育に関する事務の点検評価について

効果的な教育行政の推進に資するため、外部の学識経験者の知見を活用して「教育委員会の点検及び評価」を実施し、報告書にまとめた。

Ⅳ 教育委員会の取組について

1 教育委員会会議の開催状況

定例会議を12回開催した。学期末には、定例会議の開催に合わせて教育懇談会（7/20、12/22、3/8）を行い、飛島学園校長、教頭から学校の様子、取組内容や成果・課題等について報告を受けた。

回	日付	会議名	回	日付	会議名
1	4/27(木)	教育委員会(4月定例)	7	10/20(金)	教育委員会(10月定例)
2	5/23(火)	教育委員会(5月定例)	8	11/28(火)	教育委員会(11月定例)
3	6/20(火)	教育委員会(6月定例)	9	12/22(金)	教育委員会(12月定例)
4	8/2(水)	教育委員会(7月定例)	10	1/23(火)	教育委員会(1月定例)
5	8/22(火)	教育委員会(8月定例)	11	2/22(木)	教育委員会(2月定例)
6	9/26(火)	教育委員会(9月定例)	12	3/27(水)	教育委員会(3月定例)

2 教育委員会会議の審議状況

12回の定例会では、「準要保護児童生徒の認定について」、「飛島村奨学生の認定について」など15件の議案が審議された。さらに、新規を含む30件の後援依頼が発議され、「飛島村教育委員会における後援等の基準及び手続きに関する要綱」の審査基準に従い十分検

討した結果、1件を除き後援が承認された。

会議	審議状況
4月 定例	<p>【議案】・第6号 県民の日学校ホリデーの指定について</p> <p>【協議】・後援承認について 5件</p> <p>【報告】・5月学校行事予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛島学園における学習者使用タブレット端末等の使用及び管理に関する要綱の制定について
5月 定例	<p>【議案】なし 【協議】・後援承認について 3件</p> <p>【報告】・6月の学校行事予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛島学園部活動の適切な在り方検討委員会設置要綱の一部改正について ・教育委員会生涯教育課関係事業補助金交付要綱の一部改正について ・広島派遣選考委員会設置要綱の一部改正について ・社会教育委員名簿について ・図書館協議会委員名簿について ・図書資料無償配布について
6月 定例	<p>【議案】・第7号 準要保護児童生徒の認定について</p> <p>【協議】・後援承認について 2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合社会教育センター及び図書館・温水プールの臨時休館について <p>【報告】・7月の学校行事予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛島学園コミュニティ・スクール検討委員会設置要綱について ・令和5年度平和推進事業について ・夏まつりについて ・村民体育祭について
7月 定例	<p>【議案】・第8号 飛島村奨学生の認定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9号 教科用図書の採択について <p>【協議】・後援承認について 3件</p> <p>【報告】・8月の学校行事予定について</p>
8月 定例	<p>【議案】なし 【協議】・後援承認について 2件</p> <p>【報告】・9月の学校行事予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛島村教育委員会に関する点検及び評価の報告について ・「ラーケーションの日」の実施について ・平和推進事業について
9月 定例	<p>【議案】なし 【協議】・後援承認について 6件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助の所得基準の見直しについて <p>【報告】・10月の学校行事予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度使用教科用図書採択結果について ・飛島村通学路指導員等設置要綱の一部改正について ・友好都市交流事業南種子町派遣について
10月 定例	<ul style="list-style-type: none"> ・議席の指定 <p>【議案】なし 【協議】・後援承認について 1件</p> <p>【報告】・11月の学校行事予定について</p>
11月 定例	<p>【議案】なし</p> <p>【協議】・飛島村教育支援委員会について</p> <p>【報告】・12月の学校行事予定について</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・「全国学力・学習状況調査」の結果の分析と活用について ・飛島学園学校給食用物資納入業者登録事務取扱要領 ・愛知万博メモリアル第16回市町村対抗駅伝競走大会について ・アウトドアスポーツイベントについて ・令和6年飛島村はたちのつどいについて
12月定例	<p>【議案】・議案第12号 令和6年度新入学生徒の就学について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議案第13号 飛島村教育支援委員会規則の一部改正について <p>【協議】・後援承認について 1件</p> <p>【報告】・1月の学校行事予定について</p>
1月定例	<p>【議案】・第1号 県民の日学校ホリデーの指定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2号 飛島村学校運営協議会規則について <p>【協議】・飛島村総合教育会議について</p> <p>【報告】・2月の学校行事予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友好都市交流事業（豊根村派遣）について
2月定例	<p>【議案】・第3号 令和6年度飛島学園教職員の異動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4号 準要保護児童生徒の認定について ・第5号 飛島村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について ・第6号 飛島村運動広場条例の一部改正について <p>【協議】・令和6年度教育委員会関係予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛島村教育支援委員会について ・後援承認について 2件 <p>【報告】・3月の学校行事予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年 年輪のつどいについて ・スポーツフェスティバル2024について ・人形劇公演について
3月定例	<p>【議案】・第7号 教育委員会事務局職員の任免について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8号 令和6年度使用教材の承認について ・第9号 飛島村教育委員会事務局等組織規則の一部改正について ・第10号 飛島村運動広場条例施行規則の一部改正について <p>【協議】・後援承認について 5件</p> <p>【報告】・4月の学校行事予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛島村就学援助事務取扱要綱の一部改正について ・飛島村教育委員会事務局等専決規程の一部改正について ・飛島学園学校運営協議会委員名簿（案）について ・教育委員会生涯教育課関係事業補助金交付要綱の一部改正について ・令和6年度少年少女体力づくり教室について ・令和6年度温水プール・ふれあい温泉招待券について

3 教育委員会の活動状況について

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、教育委員会の所管する生涯教育・スポーツ活動等が通常開催できるようになった。

海外派遣事業の再開にあたっては、アメリカのリオビスタ市における受入れ体制が整っ

ていないことや、令和5年度に他県の中学生在が安全・安心に研修ができた場所のオーストラリアのケアンズ市を選定し、ホームステイや現地学生との交流、異文化体験などを行った。

また、学校関係では部活動の地域移行、コミュニティ・スクール活動の推進を図るため、検討委員会を立上げ、地域住民の意向を反映しながら、生徒にとってのより良い環境の構築や学校の働き方改革に向けての方向性についての検討を行った。

月	教育委員会行事・大会等 (村内)	その他
4	<ul style="list-style-type: none"> ・辞令交付式 ・教職員辞令交付式、研修会 ・通学路指導員委嘱状交付式 ・スポーツ推進委員委嘱状交付式 ・飛島学園入学式・後期課程進級式 ・少年少女体力づくり教室・スポーツ少年団合同開講式 ・教育委員会 ・村校長教頭会 ・海外派遣事業応募説明会 ・文化協会、スポーツ協会総会 	<ul style="list-style-type: none"> ・海部地方教育事務協議会、教育長・委員代表会議 ・市町村教育長会
5	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 ・村校長教頭会 ・飛島学園学校訪問 ・海外派遣事業応募審査会 ・文化協会春の祭典 芸能発表会 ・遠方通学支援バス乗車説明会 ・スポーツクラブとびしま総会 ・第1回特別支援教育連携協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書採択海部地区協議会 ・県町村教育長協議会定期総会・研修会 ・全国市町村会教育長協議会総会・研修会 ・海部地区教育長会
6	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 ・村校長教頭会 ・夏まつり実行委員会・村民体育祭実行委員会・図書館協議会 ・社会教育委員会 ・文教厚生委員会 学園視察 ・少年少女体力づくり教室閉講式 ・第1回部活動の適切な在り方検討委員会 ・海外派遣事業推進委員会 ・飛島村教育委員会に関する点検及び評価の意見聴取会 ・南種子派遣応募説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・海部地方教育事務協議会・委員代表者会議
7	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 ・教育懇談会 ・村校長教頭会 ・いじめ問題対策連絡協議会 ・明るい青少年を育てる活動推進会議 ・海部南部教育委員会研修協議会 ・夏まつり実行委員会 ・平和推進事業広島派遣 表敬訪問 ・飛島学園コミュニティ・スクール学習会 	<ul style="list-style-type: none"> ・県市町村教育委員会連合会定期総会及び研修会 ・教科用図書採択海部地区協議会 ・東海北陸地区町村教育長研究協議会愛知大会準備会

	<ul style="list-style-type: none"> ・友好都市交流事業南種子派遣応募審査会 ・ふるさとフェスタ実行委員会 ・飛島村文化財保護審議会 	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 ・第1回総合教育会議 ・広島派遣事業 ・夏まつり ・第2回特別支援教育連携協議会 ・海外派遣事業（10日～14日）9年生 ・海外派遣事業（17日～21日）8年生 ・桑名市議会議員学園視察 ・第2回部活動の適切な在り方検討委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・東海北陸地区町村教育長研究協議会
9	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 ・村校長教頭会 ・村民体育祭実行委員会 ・通学路指導員情報交換会 ・夏まつり実行委員会 ・敬老祝賀会 ・伊勢湾台風を忘れない集会 ・飛島学園視察（愛知教育大学） 	<ul style="list-style-type: none"> ・海部地区臨時教育長会 ・愛知教育大学附属名古屋中学校研究発表会
10	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 ・村校長教頭会 ・教育委員会辞令交付 ・学園体育祭 ・村民体育祭 ・遠方通学支援バス保護者説明会 ・ふるさとフェスタ実行委員会 ・海外派遣研修報告会 	<ul style="list-style-type: none"> ・海部地方教育幹事会・事務協議会・委員代表者会議 ・いなべ市立藤原小中学校視察
11	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 ・村校長教頭会 ・ふるさとフェスタ、文化祭、芸能祭 ・小豆島議会学園視察 ・村表彰式 ・教育支援委員会 ・村民体育祭実行委員会 ・愛知駅伝推進委員会 ・第3回部活動の適切な在り方検討委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務協議会研究発表会 津島市高台寺小 ・海部地方教育長会・事務協議会、教育長・教育委員代表会議 ・県町村教育長協議会研修会
12	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 ・教育懇談会 ・村校長教頭会 ・愛知駅伝 ・ふるさとフェスタ実行委員会 ・第1回学校運営協議会準備委員会 ・海外派遣事業推進委員会 ・図書館協議会 ・社会教育委員会 ・アウトドアスポーツイベント ・友好都市交流事業南種子派遣出発式 帰着式 	

1	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 ・村校長教頭会 ・第2回総合教育会議 ・はたちのつどい ・山形県朝日町議会視察 ・海外派遣プロポーザル審査委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育全国シンポジウム（東京）
2	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 ・村校長教頭会 ・愛知県教育委員会 飯田教育長学園視察 ・新1年生チャレンジ教室 ・第3回特別支援教育連携協議会 ・静岡県駿東郡長泉町議会視察 ・減農薬野菜提供者の皆様に感謝する会 ・飛島村環境審議会 ・学園部活動地域移行体験活動（バスケット女子） ・児童館運営委員会 ・第2回学校運営協議会準備委員会 ・年輪のつどい 	<ul style="list-style-type: none"> ・海部地区教育長会研修視察（静岡） ・海部地区人事面談（第2次） ・産業教育研究会 ・県町村教育長会 ・海部地方教育長・教育委員代表会議
3	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 ・教育懇談会 ・村校長教頭会 ・飛島学園卒業証書授与式 ・サッカーカーニバル ・スポーツフェスティバル2024 ・飛島村虐待等防止ネットワーク協議会 ・休日運動部活動プロポ第1回審査会 ・退職辞令交付式 	<ul style="list-style-type: none"> ・海部地方教育長会・事務協議会、教育長・教育委員代表会議

V 主な事業の取組状況

1 学校教育・青少年健全育成

(1) 義務教育学校（小中一貫教育）の充実

① 外国語（英語）教育の充実

<令和5年度実績>

○外国語（英語）教育の推進

- ・1・2年生は隔週1時間、3・4年生は毎週1時間の外国語（英語）活動を、5・6年生は毎週2時間、外国語（英語）の授業を、外国語専科教員とALTで実施。
- ・ALT（外国語指導助手）2名を派遣（委託）

（前期課程）週5日勤務（35時間）×43週 （後期課程）週5日勤務（35時間）×43週

○英語教室（ホームステイランゲージ）の実施（教育委員会主催）

- ・日時：月曜日6限 ・対象：8、9年生（6～10月） 7年生（2～3月）
- ・目的：実践的な英会話の研修

○英検 Jr の実施

- ・対象（実施日）：5年生（1月18日） 6年生（1月18日） 7年生
- ・英語学習の入門期に大切と考えられているリスニング形式。英語を聞いてイラスト等に○をつける。全国規模で実施され、成績データは客観性が高い。

- ・平均正答率：BRONZE(5年生受検) 飛島学園 平均91% 全国平均86%
SILVER(6年生受検) 飛島学園 平均88% 全国平均84%
- ・7年生英検 I B A (1月18日)
合格レベル 英検5級(19名) 英検4級(15名) 英検3級(12名)
英検準2級(4名)
- 英検のための授業実施
 - ・対象(回数)：8年生希望者(5回)
 - ・英検：1月20日(飛島村中央公民館)、2月18日(清林館高等学校)
 - ・英検受験者：3級(31名)・準2級(3名)
一次合格者：3級(17名)・準2級(1名) 二次合格者：3級(13名)、準2級(1名)
- オンライン英会話・交流会の実施(新規)
 - ・対象：5～9年生
 - ・実施：5～6年生2時間、7～9年生3時間
 - ・生徒一人一人がオンラインで海外の外国人講師とつながり、学年や個のレベルに応じた英会話を学んだ。
 - ・8年生を対象として、オーストラリアブリスベンの小学生とオンラインでつながり、互いの国や学校の紹介を英会話で行った。
- 特別英語
 - ・対象：3～6年生
 - ・月に1回、ALTと担任によるALL Englishでゲームや自己紹介、日常会話の授業を行った。

<点検及び評価>

○前期課程は外国語専科教員とALTで、後期課程については英語担当教員とALTで学習を進めている。ICT機器を活用しながら学習を進めることで、子ども達にとって魅力的な外国語学習に繋がっている。

② 通学路交通安全指導

<令和5年度実績>

○通学路指導員の配置(有償)

- ・生徒の登下校時の交通安全指導

【登校時】・1時間×199日×8人

- ・村内7箇所・・・県道交番前2人、交差点6人(渚、役場南西、竹之郷農免、竹之郷三丁目、松之郷村道、元松神社東)

【下校時】・1～1.5時間×199日×3人 ・3箇所(県道交番前、渚、役場南西)

○スクール・ガードの配置(無償)

- ・学園保護者を中心に15名を登録

<点検及び評価>

○定点指導や付き添いによる登下校の見守りにより、大きな事故もなく登下校できた。交通指導員及びスクール・ガードの配置による成果は大きい。

③ ICT支援委託

<令和5年度実績>

○ICT教育支援員の派遣

- ・4月～3月 7.5時間×96日（1名）
- ・外部講師によるICT機器や校務システムの有効活用について研修（年3回）

<点検及び評価>

- ICT機器やソフトウェア及びアプリケーションを使って授業を行う際に、教職員も戸惑うことなくICT機器を活用することができた。また機器の使用について困ったときに迅速に対応し、トラブルを解決することができた。
- 日常的にタブレットの持ち帰りをを行い、連絡や課題（宿題）等に活用している。臨時休校や学年・学級閉鎖となった時には、オンラインにより教員と生徒が繋がり、授業や健康観察を行うことにより生徒や保護者の不安を解消することができた。

④ 小中一貫教育の検証等

<令和5年度実績>

○義務教育学校についての理解促進

- ・9年間の連続性のある一貫教育の推進のため、授業アドバイザーに週1回来校して頂き、全職員が授業についての指導・助言をいただいた。

○後期課程教員による前期課程への一部教科担任制（社会・体育・家庭科）

前期課程教員による後期課程への一部教科担任制（数学）

<点検及び評価>

- 義務教育学校としての一貫教育推進について、外部講師より指導助言をいただき、全教職員が研究授業や協議会を行った結果、9年間で積み上げるべき授業技術や方向性について共通理解を図ることができた。
- 5年生以上の教科担任制に取り組みながら、教育課程の工夫、外国語（英語）教育の充実、9年間を見通した総合的な学習の時間について、保護者や地域に学園のホームページを活用し、理解促進に努めている。
- 専門性の高い教員による授業で生徒の興味・関心を高めることができた。

⑤ 水泳授業への指導員派遣

<令和5年度実績>

○水泳指導員として2名の指導員を派遣した。派遣時間については、1人あたり48時間派遣し、生徒の水泳指導にあたった。

- ・前期課程：各学年2時間×4日 後期課程特別支援学級：2時間×4日

<点検及び評価>

- 各学年の水泳授業に2名の指導員を配置したことで、生徒の泳力に応じて3つのコースに分けて指導することができ、個に応じた指導体制を構築することができた。
- 少人数での指導が可能となり、より安全に水泳授業を行うことができた。
- 後期課程特別支援学級（肢体不自由）の生徒を担当教諭と指導員で支援できる体制を整えたことで、より安全・安心な水泳指導を実施することができた。

⑥ 学校給食事業

<令和5年度実績>

○学校給食の調理を業者委託（平成22年～）

- ・調理員…毎日10名を配置
- ・調理実施日…191日、食数…87,518食（平均458食/日）
- ・食物アレルギーをもつ生徒への学校給食対応について、令和3年度に作成されたガイドラインを教職員、調理員に周知し、適切な対応に努めた。

○減農薬野菜を使用した給食の実施

- ・村内で作られた減農薬野菜（玉ねぎ、人参、小松菜・大豆・大根等）を使用した学校給食を年7回提供し、生徒の健康増進・食育・郷土愛の醸成・心身の健やかな発達に繋がった。

<点検及び評価>

- 2学期より感染防止対策を講じながら、全学年ふれあいホールでのカフェテリア方式による会食を行い、安全・安心な学校給食を提供することができた。
- 減農薬野菜を使用した学校給食を提供したことにより、健康な体づくりや食育、郷土愛の醸成の推進に繋げることができた。

⑦ 非常勤講師雇用事業

<令和5年度配置実績>

○非常勤講師の配置

《前期課程》算数、英語、図工、書写の授業、日本語指導

20時/週×41週 820時間/年(2名)	12時/週×41週 492時間/年(1名)
15時/週×41週 615時間/年(2名)	7時/週×41週 287時間/年(1名)
9時/週×41週 369時間/年(1名)	

《後期課程》国語、家庭科、技術

12時/週×41週 492時間/年(1名)	
12時/週×41週 492時間/年(1名)	14時/週×41週 574時間/年(1名)

○特別支援教育支援員の配置

- ・授業補助
16時/週×37週 592時間/年(2名)

○メディアセンター司書の配置

- ・蔵書整理、図書の購入、調べ学習時の参考図書レファレンスサービス
- ・984時間/年(1名)

<点検及び評価>

- 後期課程教員や非常勤講師が、5・6年生の授業に入る教科担任制の実施は、専門的な学びができ、7年生授業へのスムーズな移行へ繋がっている。
- 特別支援学級に在籍する支援を要する生徒の指導補助にあたることで、落ち着いて授業を受けることができるようになってきた。
- 非常勤講師の配置は、後期課程では臨時免許で授業を行う必要がなくなるだけでなく、教員が教材研究を行う時間の確保に繋がっている。前期課程では担任とTTが指導を行うことで、個へのきめ細やかな支援を行うことができ、学びの保障に繋げることができた。

(2) 地域と連携した学校教育の推進

① 総合的な学習の時間

<令和5年度実績>

- ・村内の農業従事者を招聘し、ほうれん草や水菜、キャベツなどの野菜作りや販売のノウハウを教授いただき、農業・商業を体得した。
- ・村内のロケット工場の見学を行ったり、木材企業から講師を招き講話をしていただいたりと、村の産業の特色や地理的環境を学ぶ機会とした。
- ・建設業や飲食業、保健施設等、村内12か所の事業所にご協力いただき、7年生を対象とした職場体験学習を実施した。
- ・8年生を対象として、村総務課職員を講師として、防災講話や避難所見学を実施した。
- ・村内在住の伊勢湾台風の経験者や村総務課職員を講師に招き、伊勢湾台風を語り継ぐ会を実施した。
- ・プログラミング学習のまとめとして、8年生で村内企業によるロボット・プログラミングを行った。
- ・4年生で村内企業による省エネ授業を行い、SDGS教育を推進した。

② 休日の部活動の地域移行

- ・検討委員会の開催：3回/年

<点検及び評価>

- 村内のさまざまな職種の企業や団体から講師を招き、専門的な視点からの講話を聞いたりと、体験したりする場を設定したことで、村内の産業や地理的特色等を学ぶとともに、生き方を考える機会となった。
- 野菜作りや販売は、村の産業を知るだけではなく、販売を通して、保護者を含め住民と直接ふれあう機会となり、コミュニケーション能力の育成にも寄与した。
- 社会に開かれた教育課程の実現に向けて、総合的な学習の時間を軸として、保護者や地域と課題を共有し、生徒の成長を共に感じ取れるカリキュラムづくりに取り組んでいる。
- 部活動の地域移行を推進するため、地域のスポーツ団体を中心に検討委員会を立ち上げ協議を行った。休日の部活動について、令和6年9月から民間委託の方法により、平日の部活動と同様に6部活を行う。

(3) 生徒の心身の健康づくり

① スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）及び就学支援コーディネーターの配置

<令和5年度実績>

- 保護者や生徒の相談活動、就学前の保護者の相談活動、不登校傾向生徒の相談・支援活動の実施

不登校支援や問題行動の対応、特別な支援を必要とする生徒の対応として、保護者や生徒の相談活動を実施、悩みや問題を抱える生徒を取り巻く環境への働きかけや関係機関等との連携・調整を行った。

- ・スクールカウンセラー 200 時間/年(3名)
- ・スクールソーシャルワーカー 156 時間/年(1名)
- ・就学支援コーディネーター 882 時間/年(1名)

○不登校生徒宅へ担任とともに訪問する。

<点検及び評価>

- スクールカウンセラー(週3日)、スクールソーシャルワーカー(月2回)、就学支援コーディネーター(週3日)を配置することで、保護者や生徒の相談に迅速に応えることができ、特別な支援を必要とする生徒の対応については、医療機関の臨床心理士と連携し、保護者の気持ちを汲み取り、担任と特別支援担当とを繋げることができた。
- ケース会議では、生徒の生活実態を洗い出し、教職員の役割や関係諸機関からどのような支援が得られるのか等を専門的な視点から助言をいただき、指導・支援に生かすことができた。
- 保護者や生徒のニーズをつかみ、村社会福祉協議会や近隣の放課後デイサービスと連携したことで、生徒にとってよりよい生活環境の構築に役立った。
- 就学支援コーディネーターについては、週3日教育課で勤務し、就学前の保護者の相談活動を行い、学園生徒の様子を観察や保護者の相談活動を実施することで、保護者の不安を解消し、よりよい就学支援のあり方を見い出すことに繋がった。
- 教育支援教室「きらり」に通室している生徒への適切なアプローチを実施したことで、学園に登校できる機会が増加した。

② WEBQ-Uアンケート

<令和5年度実績>

○WEBQ-Uアンケート実施(年2回)

- ・目的：登校しぶり、いじめの被害者や加害者、学校生活の意欲が低下している生徒の早期発見、早期対応、学級内の人間関係の把握、よりよい学級を経営するため。

<点検及び評価>

- アンケートの実施や結果の活用方法を研修することで、学級担任が生徒一人一人の内面や対人関係をより把握しやすくなり、学級経営を進める上で、有効に活用することができた。
- 年間2回のWEBQ-Uアンケートが実施できることで、学級の状態の変化をつかむことができた。また、2学期にはSCによるQ-U分析を活かすことができた。

③ いじめ・不登校問題対策

<令和5年度実績>

○飛鳥学園のいじめ・不登校対策委員会を開催

○毎月の学園職員会議で前後期の情報の共有

○生徒指導部会を開催(毎週)

- ・問題行動・不登校生徒への対応策について、共通理解の場となっている。
- ・生徒指導主事による校内研修

○村校長教頭会議(毎月)・村教育懇談会(每学期末)

- ・心配な生徒の状況等を情報共有し、対応を協議した。

○教育支援教室「きらり」を開設(30年10月より)

- ・登校しぶりのある生徒4名が承認を受けた上で、通室した。学習を中心に絵画や手芸など、心穏やかに通うことができている。
- ・保護者の面談活動もその都度行った。

＜点検及び評価＞

- いじめ・不登校・虐待については、学園、教育課で迅速に情報共有をすることができ、関係機関とも連携して対応することができた。
- 教育支援教室「きらり」に通室することで、できることが増えたり、自分の思いを伝えることができるようになったりして、学園にも登校できるようになってきた。
- 毎週の生徒指導部会では、全校の心配な生徒を前期後期の職員で共有し、月1回の生徒指導委員会において全職員で見守る体制づくりを行っている。

(4) 就学支援の充実

① 教育支援事業

＜令和5年度実績＞

- 経済的な理由により就学困難な家庭へ、学用品等購入費、給食費等の支給
【前期課程】4名 【後期課程】5名
- 特別支援教育就学奨励費として、学用品等購入費の支給
【前期課程】4名 【後期課程】4名

＜点検及び評価＞

- 就学援助費や就学奨励費の支給は、保護者の経済的な負担軽減に繋がっている。

(5) 学習環境の充実

① 施設維持管理事業

＜令和5年度実績＞

- 施設の保守等を実施

体育用具遊具点検(1回)	浄化槽保守(26回)	消防設備保守(2回)
総合環境衛生[清掃](随時)	電気保安保守(6回)	施設警備(常時)
体育祭会場設営(1回)	エコキュート保守(2回)	除草作業(3回)
グラウンド整備(2回)		

＜点検及び評価＞

- 継続して委託することにより、施設の長寿命化を図り、不具合・故障のあった箇所は早期に修繕を実施することができた。

(6) 青少年健全育成の推進

① 明るい青少年を育てる活動推進事業

＜令和5年度実績＞

- 広報・啓発活動
 - ・ポスター作品・標語を募集し、優秀作品を掲示。ポスターは翌年度の「すこやかカレンダー」に掲載し、標語は立て看板にして村内各所に設置。標語の部の優秀作品についてはクリアファイルに印字し啓発資料として飛島学園生徒全員に配付。

○学習活動

- ・家庭教育講座「子育てまかせてちょセミナー」（中止）

○ふれあい活動

- ・親子ふれあい教室（パティシエ、木工）を開催

○ボランティア活動

- ・とびしま・ペアレンツ（R6.3 現在 60 名登録）※平成 22 年 7 月設置

○すこやか子育てセミナー

- ・子育てネットワーク（R6.3 現在ネットワーク 6 名、ボランティア 1 名）が企画・運営する「親子ふれあいひろば」

<点検及び評価>

- 親子ふれあい教室の木工教室では、国産の木材を使って「机とイス」作りを行い、地域との繋がりを深めることができた。
- とびしま・ペアレンツは親子星空教室、豊根村スキー交流のイベントを企画運営し、子どもたちの健やかな成長の一助となった。
- 親子ふれあいひろばでは、絵本の読み聞かせやリトミックを行い、親と子どものより良い関係づくりの一助となった。

② 平和推進事業

<令和 5 年度実績>

○広島派遣

- ・目的：平和の尊さを学習・実感させるため
- ・団員：5 名、引率者 2 名
- ・派遣先：広島市平和記念公園（平和記念式典、献花献水慰霊式へ参加）
- ・期間：令和 5 年 8 月 5 日（土）～ 6 日（日）

○原爆写真等のパネル展示

- ・期間：令和 5 年 7 月 1 日（土）～ 8 月 15 日（火）

<点検及び評価>

- 広島派遣では、被爆体験者から直に話を聞くことで、戦争を知らない生徒たちが、再び戦争を繰り返さないこと等、生き方を考える貴重な体験となった。

2 生涯学習・スポーツ・文化

(1) 生涯学習の推進

① 生涯学習推進事業

<令和 5 年度実績>

○英語教室の開催

（中学生）

- ・期間：（前期）令和 5 年 6 月 1 日（木）～ 10 月 5 日（木）（各全 15 回）
（後期）令和 5 年 11 月 9 日（木）～ 3 月 7 日（木）（各全 15 回）
- ・定員：（前期）中学 1・2 年生（合同）クラス 各 20 名程度
（後期）中学 1・2 年生（合同）クラス 各 20 名程度
- ・参加者：（前期）4 名

(後期) 4名

(小学生)

- ・ 期 間：(前期) 令和5年6月1日(木)～10月5日(木) (各全15回)
(後期) 令和5年11月9日(木)～3月7日(木) (各全15回)
- ・ 定 員：(前期) 小学1～2・3～4・5～6年生 木クラス 各20名程度
(後期) 小学1～2・3～4・5～6年生 木クラス 各20名程度
- ・ 参加者：(前期) 3クラス 合計23名
(後期) 3クラス 合計22名

<点検及び評価>

- 参加者からは、「外国人と話す機会があつて良かった」「楽しい」「以前より会話できるようになった」と好評を得た。
- 子どもたちへ外国人講師との学習機会の提供により、英語力向上の一助となった。
- 参加者数が今後増えるように工夫する必要がある。
- 年2回開催した、イングリッシュキャンプは特に好評であり、保護者の参加も多かった。

② 文化振興事業

<令和5年度実績>

○ふるさとフェスタの開催

- ・ 目 的：村民が学習の成果や郷土芸能等を発表する場を設け、文化・芸能に対する資質の向上、郷土芸能の伝承を行うこと
- ・ 開催日： 令和5年11月4日、5日
- ・ 内 容： 芸術鑑賞会 「水谷千重子歌謡ショー」
芸能祭 菊華展 文化祭
- ・ 参加者数：約7,300人

<点検及び評価>

- 「活気・魅力・人づくりの村」を目指し、村民が一丸となり参加できる総合的なイベントとして秋の祭典を開催することが出来た。

③ いきがい教育推進事業

<令和5年度実績>

○年輪のつどいの開催

- ・ 目 的：村民の生きがいづくりと親睦を深めるため
- ・ 開催日： 令和6年2月25日(日)
- ・ 対象者：(50歳)82名、(60歳)44名、(70歳)59名

<点検及び評価>

- 各年代の代表による実行委員会を立ち上げ式典の企画、運営及び講演会を行うことで親睦交流会としてスムーズに実行することができた。

④ 地域づくりコミュニティ推進事業

<令和5年度実績>

○はたちのつどい(式典、記念撮影、懇親会)の開催

- ・ 日 時： 令和6年1月7日(日) ※「成人の日」前日の日曜日開催
- ・ 対 象： 村在住(中学校卒業者で村外転出者を含む)の対象者
- ・ 参加者： 36名/58名(対象者)

<点検及び評価>

○昨年度同様、対象者の代表による実行委員会を立ち上げ、式典後の懇親会を企画・運営することができた。楽しく準備している様子が伺えた。

⑤ 社会教育施設活用促進事業

<令和5年度実績>

○「生きがい学習講座」の開催

・韓国語講座 令和5年10月18日、25日、11月1日、8日、15日（水）

計 10人受講

・本格カレー作り教室 令和6年2月13日（火） 計 6組12人受講

・スワッグ作り教室 令和6年3月23日（土） 計 10人受講

<点検及び評価>

○今後も村民のニーズを把握し、見直しも含め充実を図っていく。

⑥ 友好都市交流事業

<令和5年度実績>

・目的：両町村住民の相互交流と相互理解を図るため

<令和5年度実績>

○南種子町との交流研修を実施

【南種子町派遣団受入】（今年度は来村なし）

【南種子町派遣】

・日時：令和5年12月22日（金）～12月24日（日）

・参加者：飛島村派遣団生徒10名、引率者4名

○豊根村との交流研修を実施

【豊根村派遣団受入】

・日時：令和5年8月23日（水）

・参加者：豊根村生徒7名 引率者5名

【豊根村派遣】

・派遣：令和6年2月17日（土）

・参加者：飛島村生徒15名 引率者7名

<点検及び評価>

○昨年度同様、南種子町・豊根村両町村ともに交流することができた。

(2) 生涯スポーツの推進

① 各種大会開催事業

<令和5年度実績>

○村民体育祭の開催

・日時：令和5年10月8日（日）

・場所：飛島学園運動場

・参加者：2,218名

・種目等：地区対抗、一般参加、各種団体参加、アトラクション等14競技

・実行委員会、競技等検討委員会（各2回） ・参加団体代表者会（1回）

○愛知万博メモリアル 第16回愛知県市町村対抗駅伝競走大会への参加

- ・日 時：令和5年12月2日(土)
- ・場 所：愛・地球博記念公園内、周回コース
- ・選手団：20名(監督を含む)
- ・競技結果：【町村の部】途中棄権/16チーム

○アウトドアスポーツイベント

- ・日 時：令和5年12月16日(土)
- ・場所：古台ソフトボール場
- ・内 容：ノルディックウォーク教室、スラックライン教室、モルック教室、親子ヨガ教室、ランニング教室、火おこし体験、コーヒーの淹れ方教室、キャンプギアの展示
- ・参加者：107名

○スポーツフェスティバル2024

- ・日 時：令和6年3月17日(日)
- ・場 所：総合体育館、南部運動場、南部体育館
- ・内 容：ライフロングスポーツプログラム体験、陸上チャレンジゲームズ、フィットネス体験、アスリート交流会、バスケットボール教室

<点検及び評価>

- 村民体育祭については、今年度も午前中のみで開催であり、雨天により、当日一部競技内容の見直しを行い開催した。引き続き、幼児から高齢者までの幅広い年代が参加する恒例行事として継続することが望ましい。
- 愛知駅伝については、選手を集めることに苦戦したが、監督・コーチ・スタッフの精力的な取組もあって、チーム一丸となり大会に出場することができた。
- アウトドアスポーツイベントについては、古台ソフトボール場の利活用のため新規に開催した。改善を加えながら参加者増を目指す。
- スポーツフェスティバル2024については、幅広い年代がスポーツに取り組むきっかけづくり、習慣化を目指したイベントとして開催された。また、今後もスポーツを通じた異世代間交流の場として継続していくことが望ましい。

② 各種委員会

<令和5年度実績>

○スポーツ推進委員の活動支援

- ・委員数：8名 ・定例会：12回開催
- ・ライフロングスポーツプログラムのファミリーデーにおいてレクリエーション講師
(前期5回後期5回実施)

(内容) 運動嫌いをなくす、健康・体力づくり。ボール運動等の運営・指導に当たる。

・研修会等への参加

全国スポーツ推進委員研究協議会(不参加)

東海四県スポーツ推進委員研究会(5名・令和6年2月9～10日(金・土)静岡市)

愛知県スポーツ推進委員研修会(3名・令和5年9月2日(土)日進市)

西尾張地区スポーツ推進委員研修会(1名・令和5年10月28日(土)江南市)

海部地区スポーツ推進委員連絡協議会研修会(3名・令和6年2月17日(土)弥富市)

<点検及び評価>

○スポーツ推進委員は、ライフロングスポーツプログラムの一教室を担うことによって、他外部講師との交流が図られ、指導力が向上する良い場となった。

③ スポーツ教室開催事業

<令和5年度実績>

○少年少女体力づくり教室の開催(対象:小学生)

- ・目的:子どもたちに各スポーツの基本を教え、スポーツや運動への興味・感心を高め、スポーツ少年団への加入促進を図ること
- ・期間:令和5年4月9日(日)～令和5年6月11日(日)(全10回実施)

・教室:サッカー、剣道、テニス、ミニバスケットボール、

○ライフロングスポーツプログラム

(ベーシック)

- ・期間:(前期)令和5年5月11日(木)～9月30日(土)(全25回実施)
(後期)令和5年11月7日(火)～令和6年3月23日(土)(全25回実施)
- ・定員:(前期・後期)小中学生とその保護者 40名程度
- ・参加者:(前期)42名 (後期)37名
(上達コース)

①スラックライン

- ・期間:令和6年1月20日(土)～3月16日(土)(全7回実施)
- ・定員:小中学生 10名
- ・参加者:4名

②パルクール

- ・期間:令和6年1月16日(火)～3月12日(火)(全7回実施)
- ・定員:小中学生 10名
- ・参加者:4名

③ダブルダッチ

- ・期間:令和6年1月16日(火)～3月12日(火)(全7回実施)
- ・定員:小中学生 10名
- ・参加者:4名

○陸上教室

①夏季

- ・期間:令和5年7月25日(火)～8月2日(水)(全5回)
- ・定員:小学生低学年20名・高学年20名
- ・参加者:低学年27名 高学年5名

②冬季

- ・期間:令和6年1月24日(水)～3月6日(水)(全7回)
- ・定員:小学生低学年20名・高学年20名
- ・参加者:低学年16名 高学年2名

○アスリート育成教室「わくわくスポーツプログラム」

- ・期間 令和5年8月2日（水）～8月18日（金）
- ・定員 小学生 20名
- ・参加者 小学生 19名

○大人向けスポーツ教室

①SALSATION®教室の開催

- ・期 間：(前期) 令和5年5月9日（火）～令和5年10月3日（火）(全20回実施)
(後期) 令和5年10月24日（火）～令和6年3月19日（火）(全20回実施)
(ビギナー) 令和5年7月18日（火）～令和5年9月26日（火）
(全10回実施)

- ・定 員：18歳以上の方 前期15名・後期20名・ビギナー15名
- ・参加者：前期16名・後期14名・ビギナー7名

②ピラティス教室

- ・期 間：令和5年7月1日（土）～7月29日（土）（全5回実施）
- ・定 員：大人15名
- ・参加者：9名

③バレトン教室

- ・期 間：令和5年9月2日（土）～10月7日（土）（全5回実施）
- ・定 員：大人15名
- ・参加者：5名

④姿勢改善教室

- ・期 間：令和6年1月10日（水）～2月7日（水）（全5回実施）
- ・定 員：大人15名
- ・参加者：10名

⑤サッカー教室

- ・期 間：令和6年1月28日（日）～3月3日（日）（全5回実施）
- ・定 員：大人15名
- ・参加者：10名

<点検及び評価>

- ライフロングスポーツは、生涯スポーツに繋がるように、運動が苦手な人でも気軽に楽しめる種目を取り入れて行った。
- 小中学校の部活動のあり方が変わってきていることに伴い、地域の受け皿としても、子どもが参加できる教室を増やす等、スポーツ教室の充実を目指していきたい。
- 今年度より、アスリートを発掘・育成することを目的に、わくわくスポーツプログラムを開催した。参加者からは「次年度も参加したい」という声も多く、好評を得た。
- 大人向けのスポーツ教室ではピラティス、サッカーなど、全4種目の教室を開催した。今後も、スポーツを始め継続するきっかけとなるような多種多様なスポーツ教室の開催を目指していきたい。

(3) 地域固有の文化の伝承と保護

① 文化財管理事務事業

<令和5年度実績>

○津金君遺愛碑修繕を実施

・津金君遺愛碑のよごれ落とし、クラックや欠損の補修を行った。

② 地域民俗芸能伝承事業

<令和5年度実績>

○地域文化の振興と継承

・元松神楽太鼓保存会、海東流古政神楽太鼓保存会の運営費を助成

<点検及び評価>

○津金君遺愛碑のよごれ落とし、クラックや欠損の補修を行った。

○団体の運営経費を助成し、民俗芸能を伝承する地域人材の育成に繋げたい。

(4) 文化施設・体育施設の管理運営

① 中央公民館管理事務事業

<令和5年度実績>

○設備機器保守点検業務委託（消防設備、吊物、照明、音響、防犯カメラ等）

② 渚コミュニティセンター運営維持管理事業

<令和5年度実績>

○渚コミュニティセンターの管理・運営の委託（指定管理）

・地元の渚地区公民館運営委員会へ施設を適正かつ円滑に管理するため、指定管理者委託を実施中（令和4年4月1日～令和9年3月31日まで）

③ 地区公民館維持管理助成事業

<令和5年度実績>

○地区公民館（15地区）の維持管理費及び施設整備に係る運営経費の補助

・地区公民館の適正な管理及び運営費の助成

・地区公民館施設の補修（2件）

・地域文化振興補修（猩猩緋補修1件）

④ 公民館分館管理事務事業

<令和5年度実績>

○設備機器保守点検業務委託（電気保安、消防設備、空調、浄化槽）、夜間休日等管理、施設警備、清掃、樹木剪定等の業務委託

⑤ 社会体育施設管理事務事業

<令和5年度実績>

○設備機器保守点検業務委託（電気保安、消防設備、浄化槽）、施設警備、清掃、樹木剪定等の業務委託

○社会体育施設修繕等の実施

（東グラウンド）防護マット補修

（大宝テニス場）防風ネット張替・照明自動点灯盤取替・クラック補修

（総合体育館）授乳室改修

（古台ソフトボール場）不陸整正・グラウンド修繕

<点検及び評価>

- 施設の経年劣化に伴い、施設の長寿命化を目的として、順次、改修工事を行い、利用者の安全性・利便性の確保を図っていく。
- 渚コミュニティーセンターは、月に2～3回の利用があり、地区住民の利用が定着してきている。
- 地区住民の連帯感と心豊かな住みよい地域社会をつくるため、地区公民館の維持管理に対する助成は必要とされており、今後も継続していきたい。

⑥ 温水プール維持管理事務事業

<令和5年度実績>

【一般】※飛島学園水泳(体育)授業、着衣泳は含まない。

年度	利用者数	日最高	日平均	開館日	累計
3	31,909人	606人	119人	269日	2,083,287人
4	67,558人	1,074人	230人	294日	2,150,845人
5	84,225人	1,526人	286人	295日	2,235,070人

※4年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、150人の入場制限実施。

- プール利用カード発行による無料開放(村小・中学生 計 1,196人)

【飛島学園】水泳(体育)授業の利用

区 分	回 数	延べ参加者数
1年～9年生	32回	1,290人

※着衣泳 3・4年生 1回 77人

【総合型地域スポーツクラブ】スポーツクラブとびしまの利用

区 分	回 数	延べ参加者数
子ども水泳教室 (年中～小学生)	148回	7,806人
アクアビクス(大人)	42回	439人

【スポーツ協会】育成クラブの利用

区 分	回 数	延べ参加者数
水泳クラブ	48回	458人

【保健環境課】健康増進事業の利用

区 分	回 数	延べ参加者数
シルバーフィットネス	42回	632人

- 主な施設設備工事、修繕

- ・プール諸設備(25mプール系統ろ過ポンプ修繕、滑り台湧出口蓋修繕、更衣室壁修繕、券売機新紙幣対応化修繕、ボディーシャワー系統電磁弁取替修繕、ウォータークーラー修繕、打たせ系統アトラクションポンプ修繕、膜加温用・給湯用ポンプ修繕、障害者用更衣室軽量ドア修繕等)修繕を実施。吸収式冷温水機補修工事、スライダーポンプ取替工事を実施。

- 危機管理体制の強化

<点検及び評価>

- コロナ感染症対策も5月に解除され、制限等を解除し開館することができた。利用者も

増えた。

○今後も施設設備の保守点検を行い、計画的に改修を実施していく。

(5) 社会教育・社会体育団体の活性化

① 社会教育団体活動費助成事業

<令和5年度実績>

○関係団体の事業活動に要する経費の補助

【文化協会】

- ・補助金額：8,500,000円（加盟団体：29） ・登録会員：405名
- ・総会、理事会(6回)、常任理事会（2回）、役員研修会の開催
- ・第22回文化協会春の祭典
- ・各種行事（夏まつり）への協力

【婦人会活動】

- ・補助金額：76,000円（1地区） ・会員数：13名
- ・地域活動：花いっぱい活動(3回)

【学園PTA活動】

- ・補助金額：400,000円

【全国大会派遣補助】

- ・個人 1名：111,000円

<点検及び評価>

○文化協会は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、コロナ禍以前と同じように活動することができるようになり、春の祭典、ふるさとフェスタで日頃の成果を発表することが出来た。本年度より、文化協会の振興を会員と検討を始め、令和9年度までに会員数450名を目指す。また協会は自主運営団体であるため、将来的には事務運営面でも会員自身で進めるのが望ましいと考える。

○婦人会活動に対しては、女性の活躍・地域の活性化を図るため、より一層の団体育成を図っていく。実活動においては、「花植隊」が活発な活動を行っていただいている。

○義務教育学校である飛島学園のPTAには、より一層充実した活動をしていただきたい。

② 社会体育団体活動費助成事業

<令和5年度実績>

○関係団体が行う事業及び運営に要する経費の補助

【スポーツ協会】

- ・補助金額：2,240,000円 ・登録人員：574名
- ・総会・役員会(4回)の実施
- ・村スポーツ大会の実施：7競技
- ・役員研修会の実施：姿勢改善教室及び役員意見交換会
- ・各種大会への参加協力（村民体育祭、愛知駅伝等）

【スポーツ少年団】

- ・補助金額：1,700,000円 ・団員数：75名 ・指導者数：35名
- ・総会、本部役員・指導者協議会：4回
- ・指導者研修会の実施：1回
- ・村長杯の実施：3競技

・スポーツ少年団の各種大会への参加（3競技）

・村行事(村民体育祭等)へ参加協力

【スポーツクラブとびしま】

・補助金額：5,500,000円

・総会・理事会(3回)

・運営会員：11名

・一般会員：460名

・賛助会員：なし

【全国大会派遣補助】

・団体 2団体、個人 延べ14名：1,235,000円

＜点検及び評価＞

○今後も、住民が自主的にスポーツに関わっていけるような支援や、活性化に繋がるような種目の掘り起し等を行っていく。また、自立して活動を行うことができるように、総合的な組織・体制づくりの支援を行っていく。

○スポーツ少年団は、広報も行っているが、入団者数は横ばい状態である。中学校の部活動のあり方も変化してきており、新たな活動形態も含め検討していきたい。

○「スポーツクラブとびしま」は、水泳教室やヒップホップダンス教室は人気があるが一般会員が減少傾向にある。今後も、村民のニーズを踏まえ、対応していきたい。

(6) 図書貸出機能の強化

① 図書館管理運営事業

＜令和5年度実績＞

○蔵書状況

年度	図書	視聴覚資料	雑誌	絵画作品	計
3	88,937冊	7,951点	4,233冊	259点	101,380点
4	89,090冊	7,796点	4,234冊	259点	101,379点
5	89,113冊	7,510点	4,194冊	259点	101,076点

○貸出状況

年度	貸出点数(一人当たり)	3月末登録者数	年間貸出点数
3	10.17(冊・点)	5,553人	56,473冊・点
4	15.33(冊・点)	5,740人	57,838冊・点
5	14.49(冊・点)	6,063人	55,464冊・点

※ R3.8/30～9/30は、新型コロナウイルス感染症予防のため臨時休館

○広報活動

・広報とびしま掲載(図書館コーナー おすすめの本)

・ホームページ、デジタルサイネージ、X(旧Twitter)からの情報発信

○読書の普及活動

・オリジナルしおりの配布

・読書手帳の配布

○主な施設・設備の修繕 ……DVD・CDの研磨

○調査

・利用者の満足度調査・ニーズ調査を目的に、図書館アンケートを実施した。

＜点検及び評価＞

○読書の普及活動の一環として、絵本を紹介するオリジナルしおりを配布するとともに、読書手帳を配布しており、貸出履歴の管理及び読書の推進に効果的である。

○図書館アンケートの結果からも、明るい館内、親しめる空間、またカウンターの雰囲気・対応が良く、利用しやすい図書館であると好評である。

② 図書館整備事業

<令和5年度実績>

○図書整備

- ・蔵書の更新、配架の本の整理、利用者のニーズに応えた資料の充実を図った。
- ・図書・視聴覚資料の一部除籍を実施した。
- ・令和2年度に除籍した図書資料について、無償配布を行った。
- ・令和3年度に利用された雑誌について、無償配布を行った。

<点検及び評価>

○令和5年度は新たに「飛島村図書館視聴覚資料収集及び除籍基準」を作成し、図書資料の除籍だけではなく、視聴覚資料も除籍を進めることができた。

○雑誌の無償配布は、冊数の制限を設けたり、番号札を配布したりするほどの人気があり、今後も継続をしていきたい。

(7) 図書館利用者サービスの充実

① 図書館活動推進事業

<令和5年度実績>

○ブックスタートの実施（年6回）

- ・偶数月、最終火曜日、午後、3・4ヶ月児健康診査を終了した赤ちゃんと保護者に絵本を開く体験とあたたかなメッセージを伝え、絵本を介してゆっくりふれあうひとときをもつきっかけづくりができるようにブックスタートパック（絵本2冊や赤ちゃん絵本冊子等）を手渡した。

※8月は対象児がおらず、未実施。

○季刊誌「図書館だより」発行（年4回）

※3年度から、「図書館だより」を広報紙面上への掲載に変更。

○「きらびつうしん」発行（年12回）

○おはなし会の実施（各12回）

- ・図書館ボランティア：「おはなしぷくぷく」、「コアラのおはなし」、「としょかんおじさんのおはなし」

○こどもとしょかんまつりの実施

- ・子ども読書の日の記念事業として、図書館ボランティアが人形劇やおはなし会を実施した。

○大人のための一日図書館満喫体験の実施

- ・図書館を身近に感じてもらい、図書館利用を促進することを目的に、大人向けの講座・イベントを開催した。

○読書感想文講座の実施

- ・読書感想文の書き方のコツを知ることによって苦手意識を軽減するとともに、講座内で図書館にある読書感想文に関連する本を紹介することで継続的な図書館利用に繋げることを目的に、講座を実施した。

○わらべうた講座の実施

乳幼児をもつ親の子育ての手助け、かつ、読み聞かせボランティアの育成・スキルアップを目的に、一般向け、ボランティア向けとして1回ずつ開催した。

○人形劇公演（年1回）

- ・図書館と児童館が協力して人形劇を公演し、親子で人形劇を楽しんでいただくことにより、親子間の絆を育むきっかけづくりを支援した。

演目：「ひもルンぱ♪」「まほうねずみのシュッポ」

<点検及び評価>

- ブックスタートは、親子がゆっくりふれあうきっかけとなっている。
- 図書館だより等を発行することで、地域の方々へ取組を広く発信することができている。
- おはなし会は、コロナ禍であった頃と比較すると、人数がかなり戻ってきている。
- こどもとしょかんまつりでは、利用者が激減するお昼の時間帯に似顔絵教室を新しく企画したことによって、終始賑わい、親子間の絆を育むことができた。
- 大人のための一日図書館満喫体験では、お片付け講座が想像以上の人気があり、大人向けの折り紙教室もなかなか無いと好評をいただき、今後もシニア向けのイベントなど、実施していきたい。
- 読書感想文講座は令和3年度に好評をいただき、令和4年度からは村内の小学5・6年生向け・村内外問わず小学5・6年生向けと2回実施したが、今年度も定員以上の応募があり、好評であった。今後も引き続き実施していきたい。

3 多様な人材の活躍・育成

(1) 国際交流の推進

① 海外派遣事業（中学生）

<令和5年度実績>

- ・目的：外国の文化や生活を体験させることで、国際感覚を養い、国際社会で活躍する人材育成及び語学力向上を図る。
- ・派遣先：オーストラリア（ケアンズ市）
- ・期間：（中学3年生）令和5年8月10日（木）～14日（月）5日間
（中学2年生）令和5年8月17日（木）～21日（月）5日間
- ・団員：41名（村内在住の中学3年生） ・引率者：6名
41名（村内在住の中学2年生） ・引率者：6名

<点検及び評価>

- アメリカのリオビスタ市における受入れ体制が整っていなかったため、中学生が安全に渡航でき、安心して研修ができる場所としてオーストラリアのケアンズを選定し、ホームステイや現地学生との交流、異文化体験などを実施した。
- 海外派遣事業の一環として、英語によるコミュニケーション力の向上のためにオンライン英会話や実用英検や英検ジュニアなどに取り組み、途切れなく英語に触れられる環境を整えている。